

## 令和5年度 第1回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和5年6月16日(金)

13時30分～15時35分

開催場所：教育文化会館 第4・5会議室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、佐藤委員、権守委員、石井委員、野口委員、杉山委員、箕輪委員

出席者：〈事務局〉小島館長、北村分館長、平井分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、高橋主任（記録）

傍聴者：0名

### 1 開会

### 2 事務連絡

傍聴なし。欠席の委員なし。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。

### 3 任命状交付

### 4 館長あいさつ

### 5 委員自己紹介

### 6 職員紹介

### 7 議事

#### (1) 研究テーマについての意見交換

研究テーマ「施設を有効活用した居心地の良いオープンスペースの設置」の趣旨と今までの経過について小島館長より説明。

**箕輪委員**）今年度はどのような形に進めるのか。資料等はあるか。

**小島館長**）「キョウブン傾聴カフェ」の見学後に、まとめという形で今後の方向性を話したい。

\* 1階イベントホール前のスペースを利用した「キョウブン傾聴カフェ」を見学。見学後、「キョウブン傾聴カフェ」運営団体の傾聴ボランティア「やす

らぎ」代表の高橋さんから活動の説明。

**村社委員)** 高齢者は体の悩みの相談が多いと思うが、その場合はどうしているか。

**高橋代表)** 見守りと介護は専門ではなく話を聞くために行っているので、話をして楽しんで貰えればと思っている。訪問して体調が悪かった場合は、窓口になっている区役所等の窓口に繋ぐようにしている。

**石井委員)** 1人でいると話す機会も無いので、このように話せる場があると気持ち楽になると思う。良い活動だと思う。

**村社委員)** 傾聴ボランティアに資格はあるのか。

**関口係長)** 傾聴という資格はない。身体の相談等を聞く専門職ではなく、相手の話を聞くための活動を行っている。

**高橋代表)** 私達の会では、基本養成講座を受講した人が活動することとしているが、養成講座を受けていない人が活動に参加したい場合は一緒に活動しながら学んでもらっている。

**野口委員)** 老人ホームや個人宅への訪問での活動と、今回教育文化会館での活動と何か違いを感じたか。教育文化会館での実施の話が来た時は、快く引き受けられたか。

**高橋代表)** 訪問する場合も今回のように来てもらう場合も違いはない。地域包括支援センターからの依頼が多い。ケアマネージャーからの場合は把握しきれない部分もあり、受けきれないのでお断りしている。

**山澤部会長)** 傾聴は、相手の話した内容に対してアドバイスをするわけではなく、ただ相手の話を聞くという事で良いか。

**高橋代表)** そうである。教育文化会館で実施する場合は、個人宅と違い他の人もいるのでその点は配慮している。

**野口委員)** 今回の場合のように話したい人が来ているので、2回の試行と今回の本番と順調に実施しているということで良いか。

**高橋代表)** 広報が行き届いているためか、参加者は多かった。多くの人に来てもらえるから嬉しいという事ではなく、人数が少なくてもじっくりと対応できるのが一番であると考えている。

**杉山委員)** 今回は「キョウブン傾聴カフェ」のテーブルに衝立が無く、花が置かれていたのも良かった。

\*高橋さん退室

**山澤部会長)** しっかりとした活動を行っている団体で、今日も何人も参加者がいた。広報もしっかり行っているので今後参加者は増えていくと思われる。人数よりも質が大切であり、この場所が精神的な居場所となり帰っていただくのが一番であるという団体の思いが良く分かった。

**山澤部会長)** 高橋さんの話を聞いた上で研究テーマについての意見交換を行い

たい。

**小島館長)** 今年度は方向性を見極め、次年度に具体的に実施出来ればと考える。教育文化会館が団体に依頼して実施してもらうのではなく、オープンスペースを活用して、市民が自発的に活動を起こすきっかけづくりとしたい。その自発的に活動する団体を支援し、拡大したいと考える。今年度は、今後の方向性について検討し、次年度具体的に実施したい。

**村社委員)** 集客を考えると2月にサークル連絡会で開催する教文まつりは集客が見込める。教文まつりで「キョウブン傾聴カフェ」を実施してはどうか。

**山澤部会長)** 12月に報告書をまとめるため時期的に間に合わないが、次年度に向けて提言は可能である。

**小島館長)** 「キョウブン傾聴カフェ」にこだわらずオープンスペースの有効活用のために活動団体との繋がりづくりも行いたい。

**山澤部会長)** オープンスペースでの活用の方向性については事務局で準備してもらい、それを基に検討したい。

**杉山委員)** 広報の検討も行うのか。

**小島館長)** 広報も拡大する手法の一つである。オープンスペースの有効的な活用方法を検討し、効果的な進め方について考えたい。

**山澤部会長)** 次回は、広報の手法とオープンスペースでの活用の方向性も含め、事務局がたたき台を作成し、それを元に検討を進めたい。

(2) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

関口課長補佐、北村分館長、平井分館長より説明。

**山澤部会長)** 教育文化会館市民自主学級「歌って仲間づくり」が辞退したとの報告だが、辞退理由は何か。

**関口係長)** 団体からの要望により辞退理由の詳細については、控えさせていただきます。

8 その他

(1) (仮称)川崎市民館・労働会館再編整備の時期延長について

小島館長より説明。

(2) 今後のスケジュールについて

第2回・・・令和5年9月14日(木) 13時30分～ 第4・5会議室

第3回・・・令和5年12月19日(火)

第4回・・・令和6年2月18日(日)

※第4回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。